

○ 答 辯 宮 崎 太 郎

筑豊所在各組合の懇談會を（一所に飯を食ふ程度の話合）開催することになつてゐた。がそれをやれば戦線統一と解せらるゝし、主義主張の相違異なる組合間のことであるから充分考へねばならぬ。單なる懇談會をやらんとした迄で新聞のデマが大きい。

○ 休憩（午後三時十五分より二十分間三時五十分再會）

10、議案審議

- 一、坑夫臨時雇撤廢に關する件 吉田繁太説明
- 二、坑山不當内規取消要求の件 山木戸初太郎説明
- 三、インフレ景氣に對する賃銀値上闘争の件 森本勇説明

炭價は暴騰した、方城炭坑では三割強動員してゐる、出

炭は先月十三日鐵道に貨車七十五台要求して六十五台しか出來ず十台不足した、從來三十台内外であつたのに七十五台を必要とするには何れ丈の勞働強化をしてゐるか首を俟たぬ、賃銀は依然として舊來の儘である。徹底的に三割値上を闘ふものである。

實行方法 明日の總同盟九聯大會に提案其の賛成を得て九聯と共同對策を講ずる。

○ 賛成演説 何 某

直方驛を通過する一日の貨車は最近二千五百臺以上である、不景氣の時は千七百臺から多くて千九百臺であつた此の點より見るも三割値上は當然である、殊に單價の値上と共に尙更のことだ。

四、共済部組織に關する件 宮 崎 太 郎 説明